



2024全日本ジュニア新体操チャレンジカップ
要 項

主催:公益財団法人 日本体操協会 主管:東京都体操協会
協賛:株式会社立飛ホールディングス

1. 期日 2024年12月5日(木)

12月4日(水)	セッティング／フリー練習(セッティング協力団体)／女子審判研修／代表者会議
12月5日(木)	開会宣言／女子個人競技(ボール・クラブ)／表彰式

2. 会場 アリーナ立川立飛 〒190-0015 東京都立川市泉町500-4 TEL:042-512-8177

3. 出場資格と条件

- ① 2024年度、(公財)日本体操協会に選手登録した者とします。
- ② 2024年12月31日までに11歳から15歳になる者とします。
- ③ 女子個人競技において各ブロック予選会に出場し、第42回全日本ジュニア選手権大会への出場を得られなかった選手の中から、各ブロックより最大10名まで出場可能とします。
- ④ (公財)日本体操協会より推薦された選手。
- ⑤ 出場所属団体名の記載は2所属*1まで可能とします。

4. 競技種目と競技方法

〔競技種目〕

	個人競技
女 子	ボール・クラブ

〔個人競技〕

- ① 個人総合選手権は、2種目の得点合計により順位を決定します。

5. 採点規則

〔女 子〕(公財)日本体操協会 新体操女子2022-2024年版採点規則・ジュニアルールを採用します。

6. 表彰

個人総合選手権 1位~3位 メダル・賞状 / 4位~8位 賞状

※ 同点は同順位として表彰します

7. 参加料

個人競技:10,500 円

※日本著作権協会(JASRAC)規定による著作権料負担金を含みます。

8. 参加申込

- ① 締切期日 2024年10月29日(火) 17時59分まで
- ② 申込方法 web 登録ページ (<http://jga-web.jp/>)にて手続きを行って下さい。

☆ 注 意 ☆

参加料ご入金をもって、申し込み完了となります。

試技順抽選終了後の棄権については、参加料は返金しません。

振り込み控え書は各所属で大切に保管して下さい。申込確定後の変更・追加は受付しません。

9. 審判員について

- ① 帯同審判制 と チャレンジ審判 によって審判構成をします。
- ② 帯同審判員 は新体操女子1種資格保持者とし、カテゴリーは問いません。
- ③ チャレンジ審判員 は新体操女子1種資格及びカテゴリーの保持は問いません。新体操女子2種資格保持者でも可能とします。但し、2種資格保持者の場合は、線審・計時審となる可能性があることをご了承下さい。
- ④ 1所属団体1名の派遣をお願いします(同一所属より複数の選手が参加しても1名のみ派遣でよい)。

- ⑤ 上記審判員が派遣できない場合は、非帯同審判費用として30,000円を負担して下さい。
- ⑥ 帯同審判員またはチャレンジ審判員として参加した場合は、JSP0 公認コーチ3専門科目講習会・審判法レポートの免除、新体操女子審判2種資格保持者には、チャレンジ1回にて1種認定試験受験資格を与えるものとします。
- ⑦ 上記審判員は、必ず審判研修に参加して下さい。

10. 試技順抽選について

抽選日 : 2024年10月31日(木)

※ 全ての試技順抽選は参加申込み時に大会本部へ委任したとし、大会本部((公財)日本体操協会事務局)のみで実施します。

11. 運営に関する事項について

- ① 競技時程及び練習時程については、試技順抽選後に詳しくお知らせします。
- ② AD(Accreditation)カード^{*2}は、大会関係者全てに発行されます。
- ③ 伴奏音楽について
演奏方法 : 伴奏曲の演奏はCDとします。(必ず予備を用意して下さい)
再生機器 : 伴奏音楽再生機器は大会本部が用意したものを利用して下さい。
- ④ 部旗・応援旗の掲出について
会場内掲示の旗は各所属1枚とし、その大きさは最大4㎡とします。また体育館側より「広告」と判断された応援旗につきましては広告料が発生しますので、大会本部・体育館・諸団体とで話し合い、処理させていただきます。なお、掲載方法については、試技順抽選終了後に連絡します。

12. 大会保険ならびに大会期間中の怪我について

- ① 本協会の費用負担にて、参加選手に対して大会期間中(競技終了まで)スポーツ傷害保険をかけます。
- ② 発生した傷害の補償については東京海上日動の国内旅行傷害保険(団体)の範囲とします。
死亡・後遺障害 : 14,950,000円
入院保険金日額 : 5,000円
通院保険金日額 : 3,000円
- ③ 競技中の疾病、負傷に対する応急処置は主催者側で行いますが、その他の責任は負いません。
- ④ 大会参加者は健康保険証を持参して下さい。

13. その他

- ① 演技写真・映像撮影およびSNSによる広報活動について
(ア) 本大会は記録のため、写真と映像を撮影します。本協会が定める競技者規定第8条に従い、各選手の肖像利用に関しては大会参加申込みにより了解を得たものとし、本協会指定の写真販売業者が撮影した画像を出場選手とその関係者に限定して販売を行います。これらの行為に対し大会期間中、大会事務局へこの事業への不参加を申し出て、関係者を含め、一切の自身の演技写真掲載や利用を禁止することができます。
(イ) 撮影は許可されたエリアからのみとし、観客席からの撮影は禁止です。なお、撮影者はADカード保持者のみとし、保護者などによる撮影はできません。
(ウ) 競技普及や体操への人気拡大の目的で、本協会が定めるソーシャルメディア運用管理規定に基づく画像、映像の撮影やインタビューを依頼することがございます。撮影した画像、映像は協会ソーシャルメディア(公式HP、X(旧Twitter)、Facebook、Instagram)に掲載いたします。ご協力の程よろしくお願い申し上げます。また、大会期間中、大会事務局へこの事業への不参加を申し出て、関係者を含め、一切の自身の演技写真掲載や利用を禁止することができます。
- ② 所属の車両乗り入れについて
本大会は出場選手の輸送などを目的とした各所属の車両乗り入れはできません。

付 録

* 1. 2所属記載の注意事項

- (1) 学生(大学生・高校生以下)の**個人競技**参加者は出場資格を得た大会に関わらず、所属名を「学校名」または「クラブ名」のどちらかを選択できます。
 - ① 大学・高校等とクラブで協議のうえ、両所属の承諾を得ることとします。
 - ② 登録時に双方の所属に選手登録をしておいて下さい。登録の確認ができない場合は2所属表記できません。
※本協会への登録窓口となっている各都道府県体操協会登録窓口では、複数登録が可能となっています。
- (2) (1)における所属の双方を表記することが可能です。
 - ① 文字数に制限のある場合(競技帳票・得点表示板・場内放送や中継等における選手紹介・アナウンス・スポンサーによる肖像使用等)に、優先的に表記する所属を申告して下さい。
 - ② ①における制限に対し、/で区切り、合計12文字以内の略称を申告することが可能です。競技帳票・場内表示等に使用します。例:〇〇〇〇クラブ/□□高校
 - ③ このほか制限が生じる場合、優先する表記を本協会と参加者合議の上決定します。
- (3) 申し込み完了後の選手変更は原則出来ません。

* 2. ADカードの発行とゾーニング

- (1) 参加申込時に申請された選手・監督・コーチ・音楽係・トレーナーにのみADカードを発行しますので、会場では必ず首から下げて着用して下さい。
- (2) ADカード使用に際しては、不正使用のないようにして下さい。
- (3) ADカード発行者の**大会当日変更(例:コーチ変更)は認められません**。何らかの事情が生じ、変更が必要となった場合は、大会本部が定めた期日内(大会開催前)に理由を添えて申請して下さい。
- (4) 各所属へのADカードの発行枚数と条件は、以下の通りとします。

〔個人競技:発行枚数と条件〕

役 職	配布枚数	備 考
監督	1枚	<ul style="list-style-type: none"> ● 「監督」とは、<u>チームの引率責任者</u>のことです。 ● (公財)日本体操協会に指導者登録を完了した者のみに発行します。 ● 大会期間中は、<u>選手団席以外の競技エリア*</u>に入ることができません。 ● コーチ申請も可能です。 <p style="color: red;">※選手団席以外の競技エリアとは: 競技フロア(フェンス内)、競技会場(メインアリーナ)、練習会場(サブアリーナ)、ウォーミングアップ会場のことです。</p>
コーチ	1枚~数枚 最大個人出場 選手数分まで	<ul style="list-style-type: none"> ● 「コーチ」とは、<u>帯同コーチ(各選手指導者)</u>のことです。 ● (公財)日本体操協会に指導者登録を完了した者のみに発行します。 ● 申請できるコーチは選手1名につき1名までとします。 ● 公式練習時は、<u>全ての競技エリア*</u>に入ることができます。 ● 競技中は、<u>競技フロア(フェンス内)</u>以外の競技エリアに入ることができます。
選 手	出場人数分	<ul style="list-style-type: none"> ● 出場選手全員に発行します。
音楽係	1枚または2枚 同一所属で複数選手 が出場する場合は2 枚	<ul style="list-style-type: none"> ● 公式練習時及び競技中は、<u>競技会場(メインアリーナ)と練習会場(サブアリーナ)の音楽席</u>に入ることができます。 <p style="color: red;">※所属の音楽係を帯同しない場合は、コーチ AD または選手 AD を着けた者が音楽をかけることができます。</p>
トレーナー	1枚 ※要申請	<ul style="list-style-type: none"> ● 申込み受付時に申請のあった場合のみ、発行します。 ● 公式練習時及び競技中は、<u>競技フロア(フェンス内)外</u>に待機して下さい。 ● 治療などを要する場合は、<u>競技フロア(フェンス内)</u>に入ることができます。

【各競技エリアにおける入場人数制限】

競技会場(メインアリーナ) 選手1名、コーチ1名、トレーナー1名、音楽係1名の4名以内

練習会場(サブアリーナ) 選手1名、コーチ1名、トレーナー1名、音楽係1名の4名以内

ウォーミングアップ会場 選手1名、コーチ1名、トレーナー1名の3名以内